資料5

マイ・タイムライン作成支援について

マイ・タイムライン作成支援について

〇経緯

平成27年9月の関東・東北豪雨災害を受け、同年12月に「」6月に「水防災意識社会再構築ビジョン」が策定された。

その後、平成30年7月豪雨を始め、近年各地で大水害が発生していることを受け、「施設では防ぎきれない大洪水は必ず発生するもの」へ意識を変革し、水防災意識社会の再構築をさらに充実し加速するため、緊急行動計画を平成31年1月に改定した。

この改定により、「円滑かつ迅速な避難のための取組」として、住民一人一人の適切な避難確保のため、マイ・タイムラインの作成等を推進することが盛り込まれた。

〇これまでの取り組み

これらの状況により、令和元年度に、住民一人一人の、避難計画（マイ・タイムライン）作成を促すチラシを作成した。

令和元年１０月に、直轄区間3市（能代市、北秋田市、大館市）の防災担当課へ作成したチラシを提供。

〇今後の進め方

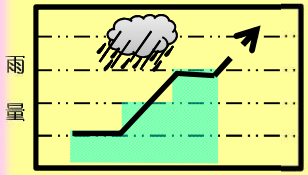
地域住民にマイ・タイムラインの必要性及び作成を促すため、各市の広報等を活用し、周知を行っていく。

また、必要に応じて、出前講座等、住民へマイ・タイムラインの作成を促していく。

洪水への備え　～マイ・タイムラインの勧め～

※タイムラインとは"事前の防災行動計画"
いざというときに、慌てずに自分の身を守るため、**個人**・**家族**のマイ・タイムラインを作っておくことが有効です。
台風など洪水が予測されるときは、**「いつ」「誰が」「何をするのか」**あらかじめ家族で話し合っておきましょう。

☆**『自分は大丈夫！』**が**一番危険**。
「後悔先に立たず…」と思う前に、
最悪の場合を考えて準備しましょう。
《マイ・タイムラインを作ってみよう！！》
小中学生向けのマイ・タイムライン教材～逃げキッド～
http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html



雨が強くなってきたけれど、川の水位も上がってるのかな

そんな時は

国土交通省『川の防災情報』
「危機管理型水位計情報」を活用！
国土交通省「川の防災情報」
国土交通省 川の水位情報

情報収集　3日前

雨が続いているけど天気、大丈夫かしら？心配だわ・・・天気予報　やハザードマップを確認　。

情報収集　2日前～1日前

家族で
避難ルート
安全な避難所の位置、建物名
を確認。
集合場所、連絡方法の確認も忘れずに！

避難の際に持ち出す荷物を確認。
水・非常食・薬など。

避難の準備

避難の実施

●**避難勧告・避難指示（緊急）**　【警戒レベル４】
●**避難準備・高齢者等避難開始**【警戒レベル３】
●**エリアメール（緊急速報メール）**

※足元に注意！

落ち着いて、かつ迅速に！気をつけて避難しよう。

被害がなかったときでも、
「避難して損した😡！」ではなく
「なにも無くてよかった😊」
と家族に言ってあげよう。

氾濫発生
落ち着いて行動して下さい
●**災害発生情報**
【警戒レベル５】

西日本豪雨時の被害

平成30年7月 西日本豪雨より

河川の水位が高いと　どうして危険なのか？

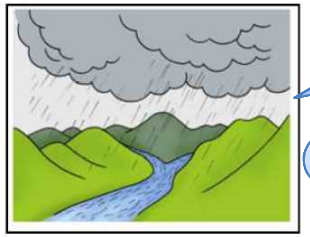
■**河川の水位が高いときや避難勧告等が出ているとき川に近づくのは危険です。**

大部分の堤防は、土でできています。土の堤防は河川の水位が高くなり、内部に水が浸透するともろくなるという弱点があり、水の勢いで削られたり、崩れて決壊することがあります。

浸透による決壊の場合

水が堤防に浸透し、堤防を弱体化させて決壊！

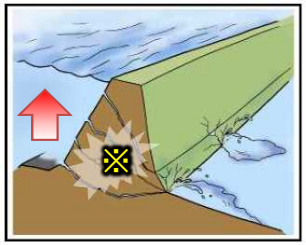
①大雨が続くと



河川の水位が上がり始めます。

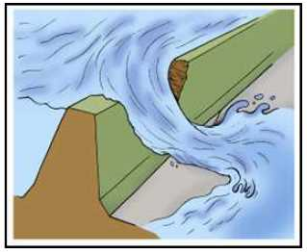
河川の水位が高い状態が続くと、堤防が水を含み、もろく崩れやすくなります。

②水位が上昇

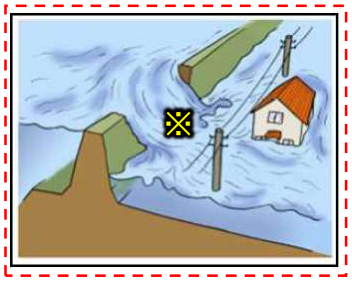


※目に見えない所で危ない状態になっているかも・・・。一旦崩れると大量の水が流れて津波のように襲ってきます。絶対に川には近づかず、すぐに避難所など安全なところに逃げてください！

③堤防の崩れ



④堤防決壊（氾濫被害）



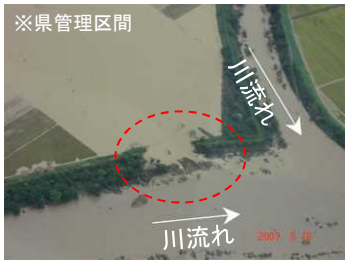
平成19年９月洪水時の被害状況

米代川の国管理区間でもほぼ全区間で「氾濫危険水位」を超え、特に二ツ井水位観測所（能代市）では過去最高水位を記録した昭和47年7月洪水を上回る水位を記録し、甚大な被害となりました。

▼出水時（二ツ井観測所付近）

▲平常時

堤防の崩壊（能代市扇田）



堤防の決壊（北秋田市李岱）

家屋等の浸水（二ツ井町小繋）

家屋等の崩壊（二ツ井町小繋）

～このチラシの内容に関する問合せ・出前講座の申し込みはこちらまで～

能代河川国道事務所　調査第一課

TEL：0185-70-1176　FAX：0185-70-1141

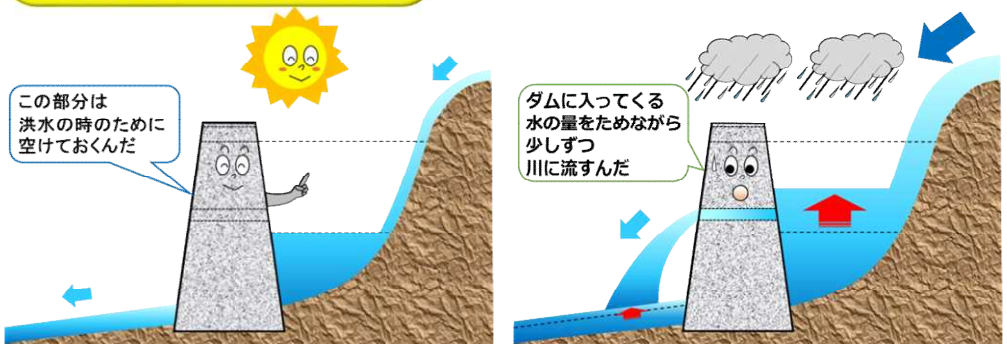
MAIL：thr-noshiro01@mlit.go.jp

お気軽にご連絡ください！

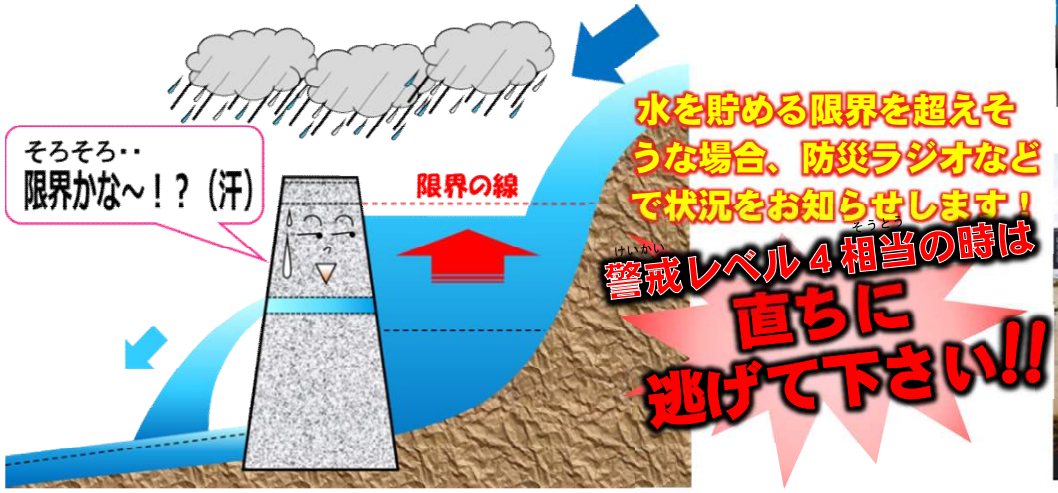
森吉山ダムの洪水調節機能と その限界

森吉山ダムは、放流するための開閉するゲートがない自然調節方式のダムです。一定規模の洪水に対しては、ダムの洪水調節機能（水を貯めること）により、ダム下流の安全度を高めていますが、水を貯める量には限界があります。

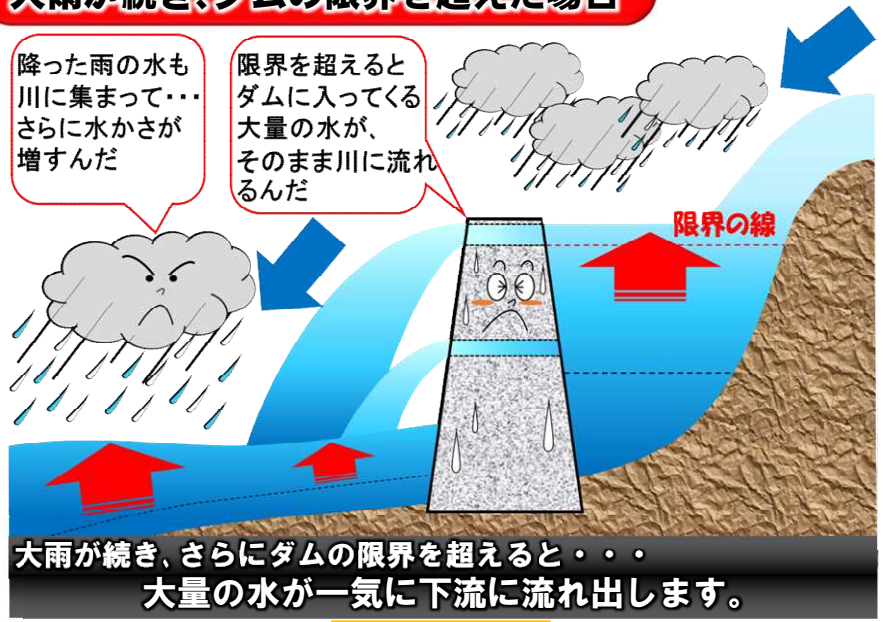
一定規模の洪水の場合（ダムに水を貯め洪水調節できる）



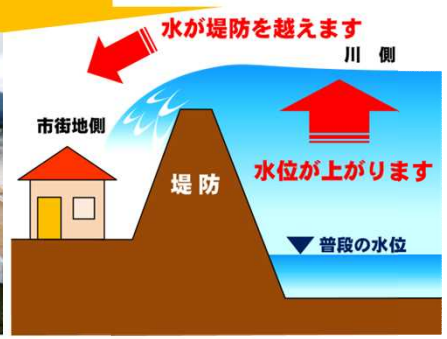
危険が迫った場合（水を貯める量が限界を超えそうなとき）



大雨が続き、ダムの限界を超えた場合



堤防からの越流状況（愛媛県大洲市）
平成３０年７月 西日本豪雨より



川では流しきれず、水が あふれ出して 大きな被害が発生します。

逃げキットについて

各個人が簡単にマイ・タイムラインを作成することが可能な、「逃げキット」が公開されている。
これらを参考に、マイ・タイムラインの作成を今後も促していく。

はじめに確認しましょう！

1. マイ・タイムライン作成のためのチェックシート
2. 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでを知ろう！！（資料1）
3. 「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの備えを考えよう！！（資料2）
4. きみだけの『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！（シール付き）
5. みんなでつくろう！マイ・タイムライン ～マイ・タイムラインをつくるためのヒント集～
6. ご自宅に戻ったらみなおしてみましょう

☆ 逃げキッドの使い方やタイムラインの考え方を解説した、「逃げキッド使い方ガイド」という動画も配信しています。下記のQRコードからご覧ください。

Youtube 逃げキッド使い方ガイド

鬼怒川・小貝川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会　鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

〔問い合わせ先〕国土交通省 関東地方整備局下館河川事務所
茨城県筑西市二木成1753　電話：0296-25-2161

みんなで タイムラインプロジェクト ポータルサイト

下館河川事務所の Facebook

(R1.6)

市・区・町・村　地区　家　マイ・タイムライン

マイ・タイムラインかんたん検討ガイドについて

水管理・国土保全局から、マイ・タイムラインかんたん検討ガイド等が下記URLより公開されていますので、マイ・タイムライン作成推進の参考としてください。

https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/timeline/index.html

・『マイ・タイムラインかんたん検討ガイド』

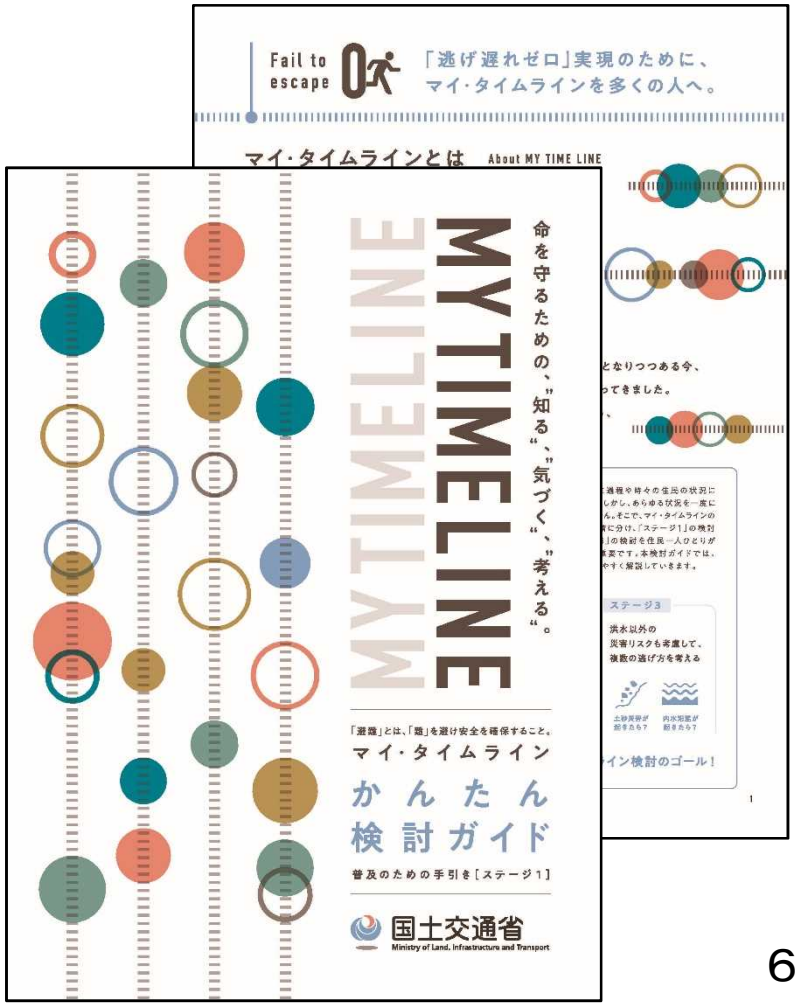
市町村職員、都道府県職員、国職員、学校教員、報道関係者、マイ・タイムラインリーダー等（広める人）が「マイ・タイムラインはこんなもの」と教える（周知する）時に使用するもの。

・『マイ・タイムライン検討のためのワークショップの進め方【～ワークショップ虎の巻～】』

→市町村の水防災に従事する職員等が主体となり、マイ・タイムラインワークショップを実施できるよう、事例を参考に手順、事前準備、参考となる資料等を取りまとめたもの

・『マイ・タイムラインガイド【Ver.1.0】（参考資料）』

→水防災に従事する職員等がマイ・タイムラインについて詳しく学ぶためのもの



マイ・タイムライン作成講習会について

雄物川流域の横手市において、マイ･タイムラインの作成講習会を開催。
令和元年11月16日には、横手市内の一般の方を対象に実施し、令和元年12月10日には、雄物川流域各自治体及び雄物川減災対策協議会構成団体の防災担当者を対象に実施している。

マイタイムライン作成講習会を開催

（秋田県 横手市）

令和元年１１月１６日
湯沢河川国道事務所
調　査　第　一　課

■ **日　時**
令和元年11月16日（土）14:00～16:00

■ **講習会開催場所**
秋田県　横手市民会館（横手市南町13-1）

■ **出席者**
吉田　晴香　気象予報士・防災士（NPO法人 気象キャスターネットワーク）
水越　祐一　気象予報士・防災士（NPO法人 気象キャスターネットワーク）
高橋　大　横手市長
日下部 隆昭　東北地方整備局 湯沢河川国道事務所長
横手市、横手市内にお住まいの方々ほか　**（全体約60名）**

マイタイムライン作成講習会の様子

秋田県横手市において**「お天気キャスターとつくるマイタイムライン～自分の逃げ方を考えよう～」**を開催しました。講師は気象キャスターの「吉田晴香さん」と「水越祐一さん」です。

▲高橋大横手市長挨拶

▲日下部隆昭湯沢河川国道事務所長挨拶

▲講習会の開催状況

▲参加者からは積極的な質疑応答

▲講師の説明に真剣に耳を傾ける参加者

マイタイムラインは、いざという時に慌てずに行動するために災害が起きると予測される時刻に向けて、いつ、誰が、何をするのかあらかじめ決めておく防災のスケジュール表です。今回は、台風を例にマイタイムラインを作成してもらいました。

【横手市内にお住まいの方々が多数参加】
今回は主に横手市内にお住まいの方々にお越しいただきましたが、自主防災組織に所属するなど日頃から防災意識の高い方が多く、真剣に取り組まれていらっしゃいました。災害発生前に安全に避難できるよう、マイタイムラインを参考に臨機応変に防災行動をとることや、日頃から災害に対しての意識を高く持ち、事前に準備をしておくことが肝要です。

防災担当職員向けマイタイムライン作成講習会を開催

（秋田県 横手市）

令和元年１２月１０日
湯沢河川国道事務所
調　査　第　一　課

■ **日　時**
令和元年12月10日（火）14:30～16:10

■ **講習会開催場所**
秋田県　横手市役所　条里北庁舎3 階　屋内訓練場

■ **出席者**
秋田県、秋田市、大仙市、湯沢市、仙北市、横手市、国土交通省秋田県内関係事務所※、雄物川水系減災対策協議会構成団体の防災担当者他
（全体約60名）

■ **講　師**
（一社）河川情報センター 流域情報事業部長 向井 正大 氏

※湯沢河川国道事務所・秋田河川国道事務所・成瀬ダム工事事務所

マイタイムライン作成講習会の様子

秋田県横手市において**「防災担当職員向けマイタイムライン作成講習会」**を開催しました。

▲向井氏による講義の状況

▲菊地 純　湯沢河川国道事務所 建設専門官 情報提供 台風19号の概要

▲講習会の開催状況

▲参加者からは積極的な質疑応答

▲真剣に取り組む参加者の方々

マイタイムラインは、いざという時に慌てずに行動するために災害が起きると予測される時刻に向けて、いつ、誰が、何をするのかあらかじめ決めておく防災のスケジュール表。今回は、住民向及に向けて主に雄物川流域市町村等の防災担当者を対象に講習会を開催。

【横手市を含む近隣市町村等からも防災担当者が多数参加】
今回は横手市のほか、雄物川流域市町村や秋田県などの防災担当職員の方々にお越しいただきました。本講習会を通して、各地域の方々へマイタイムラインの普及促進を図って頂くため、実際にマイタイムラインの作成も体験していただきました。参加者は日頃から防災業務に携わる方々であり、積極的にメモをとるなど真剣な眼差しで受講していました。

米代川減災対策協議会においても、同様の取組を計画している。
講習会を希望する機関がございましたら、能代河川国道事務所まで、ご一報をお願いします。